

## 【研修内容】

連続講座全5回の折返しにあたる第3回目の今回は、2社の工場を見学させていただきました。  
初回、2回目で学んだ講座の内容が、実際の現場で、どのように結びついているのかを確認いただきました。  
今回、お世話になった2社は、いずれも大東市の「ものづくり企業」としてご発展されている企業です。

### 【工場見学1社目】

#### 株式会社 山田製作所

社員17名・事業内容：製缶板金、板金加工、プレス加工及び製缶加工から溶接、組み付け調整まで一貫加工  
徹底した3S（整理・整頓・清掃）をベースに今までのものづくりの考えを根本から見直し、これまでの常識を覆し、全員で「**守る事を決め、決めた事を守る**」を企業文化にされた会社です。この企業文化が働く人の原動力になり、社内全体でものづくりの方法を革新させていっていることを学びました。多品種少量の時代に 대응していくために、タクトタイム重視からリードタイム重視の山田式ものづくりを生み出していた活動の歩みを、山田社長から伺いました。

#### ▽ 工場見学の流れ

- 7:30～ 到着
- 7:40～ 社長より工場見学の流れ、本日のスケジュールと見学ポイントを伺う
- 7:50～ 社内清掃の様子を見学
- 8:00～ 朝礼（社員の皆様と一緒に指差し呼称を行う）
- 8:30～ 工場見学（2班に分かれて、各工程を見学・説明を受ける）
- 9:40～ 社長の講話（2時間ほど）

#### ▽ 見学を通じて得たこと（気づきや感想）

朝礼前の清掃の様子をみて、社員一人ひとりが清掃の本当の目的をきちんと理解し、自分たち一人ひとりができることを一つひとつ実践している様子が伺えました。その姿勢は、工場見学を案内してくださった入社2年目の若手社員からも感じ取ることができました。

自分たちの活動や取り組みを相手に伝わるように、わかりやすく話して頂きました。また、消耗品の管理や機械・設備の保全、工程の管理なども、生産効率を高める工夫が随所でなされ、実践されていました。まさに、3S活動を通じて培われた「守る事を決め、決めた事を守る」が徹底されていることの表れと感ずることができました。

社長からは、社長として取り組まれてきた16年間という「これまでの歩み」を、苦勞の連続だった当時の様子を振り返りながらお話頂きました。3S活動を企業文化に根付かせていくために、社長自ら、途中挫折そうになっても信念を貫き続けたお話は、各社の次代を担う受講者一人ひとりの心に力強いメッセージになったと思います。

最後に社長から次のようなコメントも頂きました。

**【社長からのメッセージ】**

中小企業はトップダウンです。しかし、「やれ！」のトップダウンではありません。  
「一緒にやるぞ！」のトップダウンが必要なのです。  
その姿勢を社員は見ています。ぶれないか・・・、ぶれてしまえば、  
信頼関係は構築できません。ぶれないリーダーシップがボトムアップを生むのでしょう。

**【工場見学 2 社目】**

**昭和電機 株式会社**

社員 188 名・事業内容：電動送風機をはじめとして、「流れ」や「回転」の技術を生かした様々な製品の製造。  
生産性の向上をめざし、社内・社外を問わず様々な取り組みを実施。協力会社と良好なパートナーシップ  
を築き、よりお客様の要望やニーズに応えることができるように“生産革新活動プロジェクト”“技術情報を共  
有できる仕組み”など、様々な現場での改善活動の様子を伺いました。

**▽ 工場見学の流れ**

- 13:00～ 到着後、会社案内のDVDを視聴。  
改善活動や取り組み内容のご説明を頂く。
- 13:40～ 2チームに分かれて工場見学（1時間）  
事前に伺った説明内容が実際の現場でどのように  
展開され、実践しているか目の前で見学しました。
- 14:45～ 見学終了後、質疑応答

**▽ 見学を通じて得たこと（気づきや感想）**

“Doからはじめる改善”というキーワードの通り、まずやってみよう！という思いを感じる現場で  
した。  
作業改善だけに留まらず、モノの流れを改善することで、限られたスペースでも効率良く行う仕掛  
けや仕組みが、そこにはありました。現場の写真撮影を快諾頂けた理由に、常に現場で改善活動に  
取り組んでいるため、次に来社したときには、また改善されているから撮影は構わないというトップ  
のお考えを紹介頂きましたが、そうした改善活動の信念を強く感じる生産現場でした。

以上